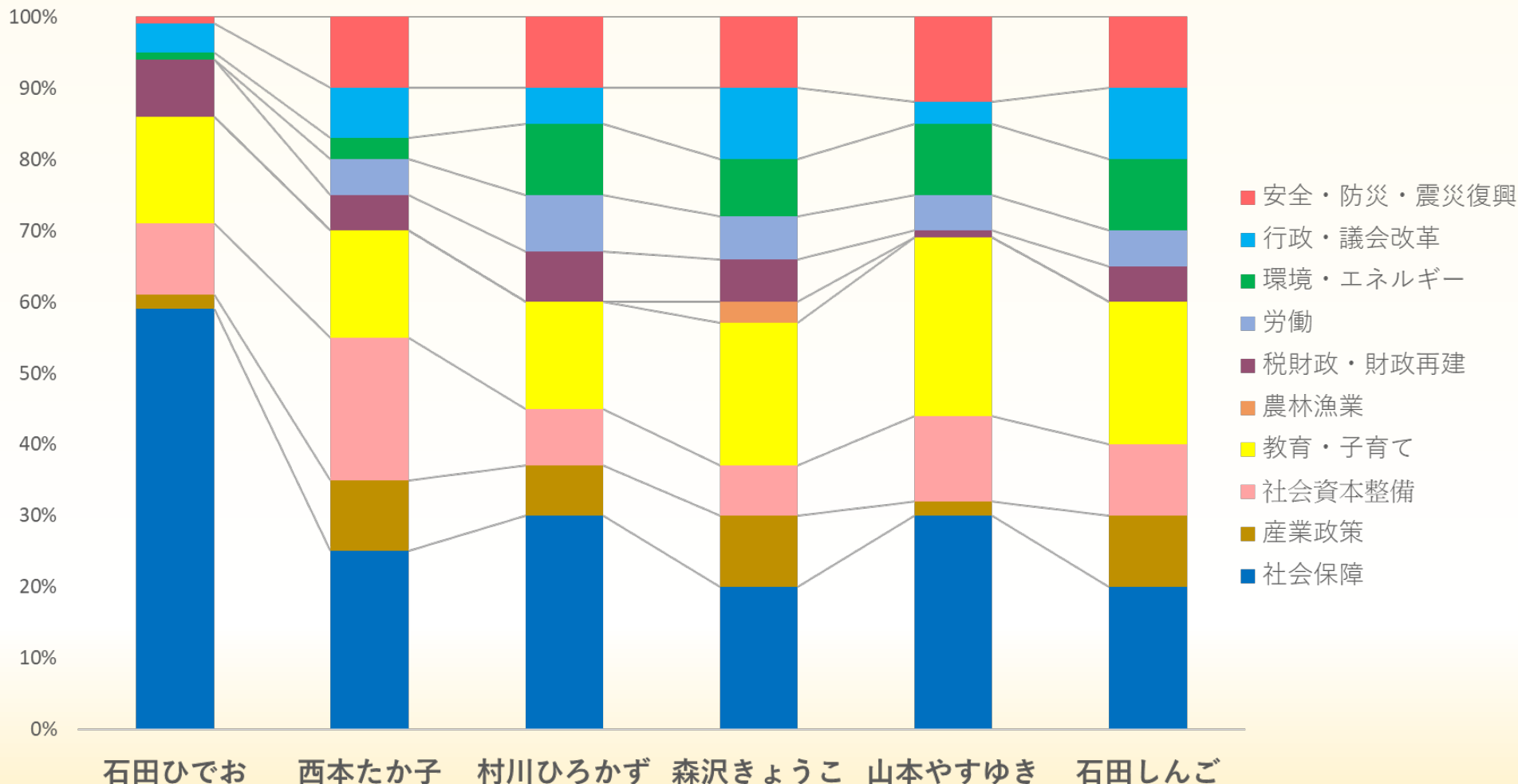


品川区長選挙 公開討論会 政策比較表

政策分野の注力度（予算を100ポイント持っているとしたときに、各分野への配分）



※候補者へヒアリングシートを送付し回答が得られたものをもとに2022年11月29日現在で作成しました

品川区長選挙 公開討論会 政策比較表1

課題を解決するための重要政策 第1優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

石田ひでお

西本たか子

森沢きょう子

政策分野

教育・子育て

行政・議会改革

教育・子育て

期限

来年度から

2年間で見直しの骨子を決定
残り2年を実践期間とする

2023年4月より開始

数値目標

—

情報開示数を現状の2倍
及び内容の見直し

第二子以降の保育料、
小中学校給食
高校生までの医療費
3つの無償化

+

0歳児へのおむつ
無料宅配

※いずれも所得制限なし

予算

10億円～12億円

令和4年度のビックデータ、AI
等の予算内

19億円

手段

・給食費の無償化

○区民の状況把握のためビックデータ、AI、SNSの活用及び地域の資源を活用した情報収集の仕組みの構築
○徹底した情報開示
○政策決定の説明責任
○天下りの廃止
○外郭団体の見直し
○長期計画及び現事業が現状にマッチしているものが見直し
○職員の意識改革を図り、達成感・生き甲斐が持てる職場環境の整備

○子育て・教育で選ばれる街を目指し、子育ての負担と不安を減らす3つの無償化や地域とのつながりと見守りを強化するおむつ宅配などの実施。

○保護者からの要望の多いすまいるスクールの仕出し弁当導入を進めるとともに、令和6年度開設予定の区立児童相談所を軸に、児童虐待ゼロ社会を目指す。

品川区長選挙 公開討論会 政策比較表1

課題を解決するための重要政策 第1優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

山本やすゆき

村川ひろかず

石田しんご

政策分野

行財政改革

①住民福祉の向上(子供～高齢者)
②公衆衛生(保健所強化、大学、医療機関連携)
③エッセンシャルワーカー等の人材育成
(介護看護ほか)

教育・子育て

期限

2026年
(区長1期目まで)

3～5年(～10年)

2年

数値目標

年間で5%、4年間で20%の予算
支出の在り方を見直していく

—

—

予算

既存予算の配分見直し
従来予算も組織の評価基準や意思決定プロセスの改善等を図り、支出の効率化を目指す。

—

10億～20億円

手段

真の区民目線の政策推進、政策決定の見える化、行政運営の効率化（詳細はwebサイトをご参照ください）改革は4年で終わりではなく、2期・3期と続けていき、世田谷区で推進されているような、真の区民のための行政を実現していきます。

○公費（税金）は区民のため健康と福祉中心に正しく使う

○人材への投資（エッセンシャルワーカー重点）

子育て・教育に関するものは原則無償化に。

→○学校給食費や保育料の無償化などに取り組むことによって少子化に歯止めを。

○子どもの遊び場などの整備、在宅育児手当や給食材料の完全国産化にも取り組む。

品川区長選挙 公開討論会 政策比較表2

課題を解決するための重要政策 第2優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

石田ひでお

西本たか子

森沢きょうこ

政策
分野

行政改革

産業政策

社会保障

期限

3年

4年間

2027年3月末

数値
目標

—

現時点での回答は困難
将来的に観光、産業振興で+へ転じ
させる

障がい者・認知高齢者向け
グループホーム200名分整備

予算

70億円

現時点では立てられず

1億円/年間

手段

国や都が推進する、東京のDX推進強化に向けて展開する様々な取り組みと連携を取りながら区のDX化を図る。

○区役所跡地を利用してJR東日本と協業し、品川区が文化遺産として保存の支援を行う。

○地域活性化の目玉として国内外へのPRを含め、地域活性化、皇室車両を含む車両の保存。
これらの展示により戦前からある大井工業を国鉄と共に守ってきた区民の誇りを醸成する。それに合わせて大井町全体の街づくりの見直しを図る。

少子高齢化社会を迎えるにあたり、障がい者や高齢者が地域で安心して暮らし続けることのできる環境づくりは大切。

○具体的には公有地や民間の未利用地を安い価格で民間事業者を活用していただく。

○時限付きで補助率を高めるなどの取り組みを行う

品川区長選挙 公開討論会 政策比較表 2

課題を解決するための重要政策 第2優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

山本やすゆき

街づくり・防災

政策分野

期限

2030年
(区長2期目まで)

数値目標

災害発生時の避難施設キャパシティの人口に対する充足率や区民アンケートを実施し満足度などを基に策定

予算

上記に加え新庁舎建て替えに伴う財政負担金額を400億円から200億円以下へ削減

手段

新庁舎建て替えにおいて、他区でも実績があるような民間手法導入による負担軽減を行うほか、予定一体敷地に品川の新しいシンボルになるような魅力のあるアリーナ施設を建設し、スポーツ・エンタメ発信と共に大規模災害時の防災・避難拠点としていきます。

加えて、
○大規模災害時のコア防災拠点・避難施設の整備
○町内会・商店街の活動支援
○ドッグラン施設整備
○公的施設におけるペット同伴ガイドラインの整備等を実施

村川ひろかず

①人材の活用（青年期の職能開発）
②シルバーパワーの活用（65～75歳代の活力）
③外国人材の導入（介護・看護等～多職種）

3～5（～10）年

—

—

- ①人材の活用
 - ・若手の職能訓練
 - ・転職相談
 - ・DX対応等
- ②シルバーパワーの活用
 - ・業種別、性能別スーパーヴァイザー
- ③外国人材の導入
 - ・介護・看護だけでなく多職種へ最低賃金、福利厚生の実質化。

石田しんご

行政・議会改革

—

—

—

○特に取り組んでいきたい課題は行政のDX化と民間活力の導入。

○行政手続きはスマートフォン一つで完結できるようにソフト面の整備をしていきたい。

○施設整備などにはPFI手法を取り入れていきたい。

○新庁舎建設についても見直しを図る。

品川区長選挙 公開討論会 政策比較表 3

課題を解決するための重要政策 第3優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

	石田ひでお	西本たか子	森沢きょうこ
政策分野	社会保障	教育・子育て	行政改革・ 財政改革・ 社会資本整備
期限	3～5年	4年間 <small>（完成には時間を要するため、取り組みの中で各ステージごとで期限を設定）</small>	2027年
数値目標	—	—	区役所建て替え経費について、区民負担を200億円軽減
予算	—	現時点では立てられず	不要
手段	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別養護老人ホーム ・ リハビリ施設 ・ 高齢者グループホーム 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育園・幼稚園の「量」から「質」への変換 ○ 公立・私立幼稚園・保育園の役割分担の明確化 ○ 公立における配慮の必要な園児への保育の研究と実践 ○ 小学校へのスムーズな移行をするための先導機関の実践 ○ 周産期母子医療、医療ケア児対策の実践 ○ すべての子どもたちのための教育の研究と実践 ○ 大学・専門学校の誘致を模索 ○ 交通機関（特に駅は必須） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 区役所跡地も含む一体的な街づくりにおいて、民間事業者に定期借地権を設定して貸し付けることで200億円の収入を得ながら、防災機能やにぎわい施設などの一定の公共空間整備を義務付けることで「収益性」と「公共性」の両立を目指す。 ○ 区民による跡地活用検討委員会を設置し、区民ニーズの叶う街づくりを進める

品川区長選挙 公開討論会 政策比較表 3

課題を解決するための重要政策 第3優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

	山本やすゆき	村川ひろかず	石田しんご
政策分野	羽田新ルート	①羽田新ルート中止（緊急課題）リニアの見直し ②SDG推進 ③バリアフリー新庁舎、街中オアシス、快適トイレ等	安全・防災・震災復興
期限	2023年	3～5（～10）年	—
数値目標	住民投票の実現、およびその結果を踏まえた新ルート見直しに向けた国への提言	—	—
予算	従来型1億から1.5億程度の費用がかかる見込み →電子投票の活用でコスト低減を目指す。	—	—
手段	住民投票には区議会の同意が必要だが、羽田新ルートに関する住民投票の実施を訴えている私が区長選挙で当選した暁には、実施の必要性を議会にしっかりと訴えて、住民投票を実現していきたい。	○区独自の新規手当の創設 ○国や都が十分に取組まない物価問題にチャレンジ！ ○羽田新ルート・品川上空低空飛行の中止。リニア中央新幹線工事の中止を求め、生活環境の破壊を止める ○区の新庁舎はバリアフリーを徹底 ○熱射病対応のオアシス、ミストの設置 ○コンビニ等に快適トイレの設置	防災対策も継続的な部分が多く期限や予算を明確化するの難しい。 耐震化等のハード面よりもソフト面には課題があると考えます。 →災害時の教育指導体制などについてはカリキュラム化に取り組む。